㈳むつ青年会議所 2012 年（平成 24 年） 4月16日（月）

JCI 2012 Junior Chamber International Mutsu
むつJC対内紙
2012.3 vol.3
2012年度スローガン
気概と誇り
己を磨き、力を合わせ、地域に貢献しよう
ホームページリニューアル アドレス http://www.mutsu-jc.com/ むつJCブログ『理事長様々』……理事長日線で随時更新中 『活動報告ブログ』……各担当者が綴っています
発行 社団法人むつ青年会議所 理事長 大瀧 孝宏 編集 総務情報委員会 委員長 後藤 憲和 〒035-0031 むつ市柳町 1-10-25 TEL:0175-22-4360（FAX:22-6450） E-mail： info@mutsu-jc.com

気概と誇り 新企画

現役&OB座談会
第1回 ゲスト：菊池 広志 先輩 南谷 信廣 先輩
4月6日（金） 秀寿司にて

入会当時の青年会議所

大瀧 まず始めに、先輩方が入会したきっかけをお聞かせ下さい。

菊池先輩 当時は今と違ってNPOなどの会もないし、商工会の青年部もなかった。そんな時代に青年会議所というのは、自分たちを地域の中でどう輝かせていこうかと自問自答し、自分たちで結束して何かをしてやろうという団体だった。そういう部分に凄く魅かれた。今では会員を増やすため一生懸命声を掛けているが、あの頃は自分たちが青年会議所に入るのはステータスだった。

原田 今だと会費が高いというのがネックなのですが、当時は高いと思わないぐらいステータスがあったのですか？

菊池先輩 ステータスがあった。会費なんか考えて無かった。

大瀧 なかなか入れなかったのですか？

菊池先輩 入れなかった。当時はどういう考えを持っているのかなど、入会の時に審査されたものだった。

南谷先輩 私の入会のきっかけは、東京から帰ってくる時に一緒に青年会議所に入ろうと私を待っている仲間がいた。それが3G代理事長の菅だった。そして25周年の高橋一さんが理事長の時に一緒に面接に行って入会した。私は全くむつ市の人たちを知らなかったので、そういう人たちを知りたいな、という単純な思いだけで入らせてもらいました。

先輩たちは、いい意味でエネルギーがあった

【プロフィール】
南谷 信廣（みなみや のぶひろ）
平成5年度 第34代理事長
平成7年度 青森ブロック協議会会長
有限会社みなみや 代表取締役

南谷先輩 今のメンバーは23名？

私が入った頃は昭和21年生まれの先輩だけで11名いたからね。あの頃のメンバーでは、戦後の団塊の世代は人数もいたし、いい意味でエネルギーがあったよね。それぞれが一生懸命で、「あいつがやるなら俺もやる」というように、ある意味エネルギーがある世代だった。その下の我々の世代はいいのか悪いのか逆にまとまっていたと思う。

さっきメンバーが23名いると言っていたけれど、昭和32年にむつ青年会議所が出来た時のメンバーが27名だったから、その当時に戻ったなという感じだよね。

【プロフィール】
菊池 広志（きくち ひろし）
平成6年度 第35代理事長
下北環境保全株式会社 会長

35周年と「下北かるた」誕生

大瀧 菊池先輩が理事長の時に35周年事業として「下北かるた」を発行されたのですね。

南谷先輩 周年事業の話をする前に、今行ってもらっている継続事業の二つのうち、「神輿祭り」を作ったのが25周年で、そして35周年の時の記念事業が「下北かるた」なんだという事を覚えていて下さい。

菊池先輩 35周年の記念事業というのは予算がないから誰もやりたくなかった。「下北かるた」をやろうという話になったけれど、予算が足りなかった。そして足りない分を私と南谷さんで責任をもちましょうということになった。

大瀧 先輩達から協賛とかをもらったわけではなく、自分たちでやっていたんですね。

菊池先輩 35周年という周年事業をやるというのは大変なことだった。何がしらの事業をしなければいけないし、出来ればやりたくなかった。でも35周年の周年事業をやるにあり、プロ長がいると思えば何でも出来ると思った。あOKだとか、県内からどんな情報が入ってくるし、凄く褒たところもあって、その点は本当にやりやすかった。ただ、一つ心配したのは、かるたのお金だった。（笑）

南谷先輩 むつJCはどちらかというと、5のつく周年行事の時は形に残る事業をやって、まる周年の時は打ち上げ花火のようにその場限りの事業をポーンとやって記念に残したような気がする。今の若い人たちはどうして夏に神輿祭りを毎年やんなきゃいけないのか、と思っているかもしれないけれど、メンバーが少ないなかで、こうして継続してもらっているのは感謝しています。

JCの単年度制について

菊池先輩 私が卒業したところは、かるたも含めて極力継続事業はして欲しくなかった。

原田 何かの機会に菊池先輩が継続事業についてお話をされていたのを聞いたことがあります。

菊池先輩 JCというのは単年度でしょ。なんで一年なのかというと今にならなければわかる。例えば教室開催一つをやるにも中身を覚えてしまって、ダラダラになってしまう。ところが一年目で何も知らなければ、始めから頑張る。そして最後まで頑張る。だからいい事が出来る、反省点もいっぱい出てくるが、これはとても勉強になる。だから青年会議所が一年間しかできないというのは凄く意味がある。

南谷先輩 その当時よく流行った言葉で「一本連続の連続」というのがあった。やってわかった頃には終わらなければならない。JCの一年交代というのはいいんだよ、という事なんだな。（つづく）

座談会の話はまだまだ尽きません。続きは次回4号特大版をお楽しみに！

※座談会の内容は紙面の都合上、一部要約させて頂きました。

座談会企画にあたって
理事長 大瀧 孝宏

この度、この座談会を企画したのには2つの理由があります。

1つは現在我々の行っている事業は、OBの先輩方の温かいご支援、ご協力の上で何とか成り立っておりますが、我々が先輩方にお会いするのは、協賛金や広告料といったお金をいただく時だけが主でありました。しかし、それで良いのかという想いが以前からあり、何か他に先輩方と関わる或いは交流できる機会は無いかという想いがありました。もう1つは現在のメンバーはJC歴が浅いメンバーが多く、むつJCの伝統、慣習といったものを知らないという事もあり、この機会を通して教えていただき、そして今後も繋げて参りたいという想いがありました。

今回は35代理事長として、35周年記念事業として「下北かるた」を製作した菊池広志先輩と34代理事長であり、むつJC唯一の青森ブロック会長経験者でもある南谷信廣先輩にお話を伺いました。

尚、今後も先輩方にお願いをさせて頂きますので、その際はご協力の程よろしくお願い致します。

3分間スピーチがスタート!!

メンバー全員が魅力あるJAYCEにならなければ会員もおのずと来ない、という趣旨から3月定例会より抽選で選ばれた方に3分間スピーチを体験して頂くことになりました。

3分間スピーチを経験して
2月新入会員 横山 滝

私は人前で話す事はさほど苦ではないと思っていたのですが…テーマが無く、3分間でまとめる、いざ話すとなると…さすがに緊張しました。

順番が最後というのが幸いで、多少なりとも話しの内容をまとめる事ができたかなと思います。

私の仕事柄、人と話す事が多いのですが、この3分間スピーチを経験させていただいたおかげで、今まで以上に人前で話す事に余裕を感じているのは私だけでしょうか？

3月定例会開催（講師例会）
地域を担う心醸成委員会委員長 角野 太

去る3月15日、講師をお迎えして3月定例会を開催いたしました。講師は「むつコン」実行委員会を代表して、井本貴之氏と倉本健太郎氏のおふたりに来ていただきました。友人同士が集まって実行委員会を立ち上げ、あれだけの大きなイベントを企画・運営された同年代の方のお話は興味深く、ためになるものでした。地域活性化のため、そして自分たちが街コンをしたら楽しいのでは、という動機で活動を始め、開催当日までは大変な苦労もあった中、最後まで当初のモチベーションを保ち続けられたのは、自分たち自身が楽しむという姿勢だったというお話に私自身耳が痛くなる思いでした。

大瀧理事長が仰った「誰もしていないことを最初にするのは大変なこと」、それを成功させたからこその説得力ある講義でした。

講師をしていただいたお二人はもちろん実行委員会代表の佐藤文男氏にもこの場を借りて改めて御礼申し上げます。

メンバーの皆さんにとっても今回のセミナーがいい刺激となり、今後の活動に活かしていただければ、と思います。

アカデミー大学第一講座及び懇親会
2012年度アカデミー塾生 竹本 慎太郎

今年は「話す」がキーワード

3月17日・18日三沢市にてアカデミー大学第一講座が行われ、角野委員長と参加してまいりました。都合により1日のみの参加でした。

講演内容は「魅力的な話し方を学ぼう～一JAYCEEとして、一社会人として～」

「話す」をキーワードにした活動ということで、今回は落語家の三遊亭歌武蔵（うたむさし）師匠による講座が開かれました。初回からこのような素晴らしい講座を聞くことができ、これだけでアカデミー大学に参加させて頂いた価値がありました。

ありがとうございました。

しかし、三上塾のサブリーダーとなった身としては、これで終わりというわけにはいかないので、今後も可能な限り出席できるよう頑張ります！

復興創造フォーラム2012
青森ブロック協議会新東北復興創造委員会 担当副会長 坂本 大助

3月10日、11日の2日間、盛岡市において（公社）日本青年会議所が主催する2012復興創造フォーラムが開催されました。全国のメンバーが岩手、盛岡の地に集まりこれからの東北、日本について考える良い機会となりました。

まず10日（土）は櫻井よしこ、細野豪志、田尻佳史の3氏による「グローバルリーダー創造フォーラム」が行われました。参加した会員が、勉強になったと言った内容の濃い大変貴重なフォーラムでした。11日（日）は「エネルギー選択フォーラム」と題して、元内閣総理大臣の鳩山由紀夫と井川会頭との対談。昨日のフォーラム同様、今後のエネルギー行政を考える上で参考になるものでした。

支援とボランティアの仕組み、方法も状況に応じて変化してきました。「JCとして、その変化に対応し東北の復興を目指し頑張っていくべきだ。そして一年前の出来事を忘れないこと、それが一番大事。」と大瀧理事長の力強い言葉が聴けたのが印象深かった上、この二日間の全てを集約した言葉だったと思います。

「被災地の物を率先して購入することもまた一つの支援の形」と齋藤専務の言葉。その通り。

支援の形も色々あります。

皆さんで色々と頑張りましょう。

いよいよ開催 参加者募集中
第2回 異業種交流会
魅力あるJAYCEE育成委員会 委員長 村舘 洋介

『おでかけ市長室』との同時開催

宮下順一郎むつ市長

4月20日（金）に二回目の開催となります『異業種交流会』が開催されます。今回は、『おでかけ市長室』との同時開催となりまして市長に講話していただきます。内容としましては、異業種交流会の参加者が20歳以上40歳以下となりますので、『若手ビジネスマンに期待すること』となっております。講話後には異業種交流会にも参加して頂いて談話となります。また、市職員も多数参加となりますので、この機会に若手社員の人脈交流の場として活用してみませんか。多数のご参加お待ちしております。

新入会員紹介

川上 隆（かわかみ たかし）
昭和53年6月15日生
血液型 O型
川上ハウスサービス

この度、むつ青年会議所に入会しました川上隆と申します。

大瀧理事長の熱烈な勧誘を受けて入会させて頂きました。皆さんと楽しく活動していきたいと思います。どうぞよろしくお願い申しあげます。

むつJC今後の予定

5月定例会は 5/12（土）
JC会館の資料整理&観桜会開催

地域力増強委員会 委員長 浜田 裕治

当委員会担当の5月定例会では、昨年からのむつ市へのJC会館返還依頼に備え、5月12日土曜日正午頃から、過去の資料、物品等の荷造り、整理、清掃、不用品の仕分けを行いたいと思います。過去の資料等をOBの皆様と整理しながら、当時のお話など拝聴し、今後の活動の糧と致したく思います。

又、JC会館に入ったことのないメンバーも、少なくないと思います。これを機会にJC活動の歴史に触れてみましょう。

終了後、OB皆様、ご家族とご一緒に観桜会を開催します。OBの皆様との交流の場、ご家族の皆様への慰労の場として親睦を深めたいと思います。GW後という事で、お忙しい方もいらっしゃると思いますが、ぜひご参加ください様、お願い申し上げます。

OBの皆様ご参加お待ちしております!!

お問い合わせは事務局まで TEL 0175-22-4360